

# ヨコハマから吹く、ブルーの風。

KATO  
PRECISION RAILROAD MODELS

## 横浜高速鉄道 Y500系 N

1月発売



- プロトタイプは日立製クーラーを装備したY514編成を設定。
- 元町・中華街向き先頭車用スカート(点検蓋付)を新規製作。
- みなとみらい線のシンボルマーク「M」をデザインした外装を美しく再現。
- 「副都心線」乗り入れ用機器を装備した、初期車の先頭車床板2種を新規に製作。

既発売の東急5050系、東京メトロ10000系、西武鉄道40000系等との共演を、Nゲージでお楽しみください。

横浜高速鉄道Y500系は、平成16年(2004)のみなとみらい線開業、東京急行電鉄東横線との相互直通運転開始に際し、自社保有の車両として製造されました。東急5000系・5080系との共通設計による軽量ステンレス鋼製車体で、「標準化による低コスト化」「快適な移動空間の提供」「環境へのやさしさ」を基本としつつも、細部においては変更点も見られます。外観上の大きな特徴は「ヨコハマの海」をイメージした鮮やかな青と「躍動感のある都市」をイメージした黄色のグラデーションによる車体デザインで、前面および側面には「みなとみらい線」のシンボルマークである「M」のマークが取り入れられ、これは同線の駅出入り口や駅構内のサイン表示にも用いられています。平成25年(2013)の改正からは、8両編成の運用に広く使用されており、東京メトロ副都心線を經由して、東武東上線は志木まで、西武池袋線は飯能まで運転されています。一方の東横線・みなとみらい線内では普通、急行運用で活躍中です。